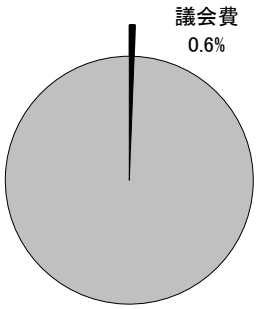
Ⅴ　主要事業の成果

※特定財源がある事務事業についてのみ
【財源内訳】欄を設けています。

第1款　議会費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

（単位　千円）

	予算現額	決算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源	執行率
令和３年度	500,779	483,623	0	0	48	483,575	96.6%
令和２年度	500,668	491,420	0	0	59	491,361	98.2%
増減	111	△7,797	0	0	△11	△7,786	－

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

議会費

1　委員会インターネット配信の実施　　2,464,000円　　2,201,144円

〈市議会情報化関係費〉

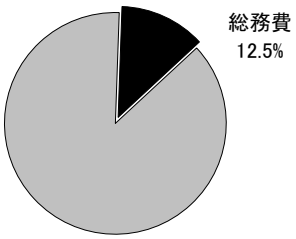
市民に開かれた市議会の実現と積極的な情報公開を目的として、これまでの本会議に加えて、新たに予算及び決算審査特別委員会のインターネットによる生中継と録画配信を開始しました。

〔実績・内容〕

配信開始時期　　令和３年９月（令和２年度決算審査特別委員会より開始）

第2款　総務費

■一般会計に占める割合

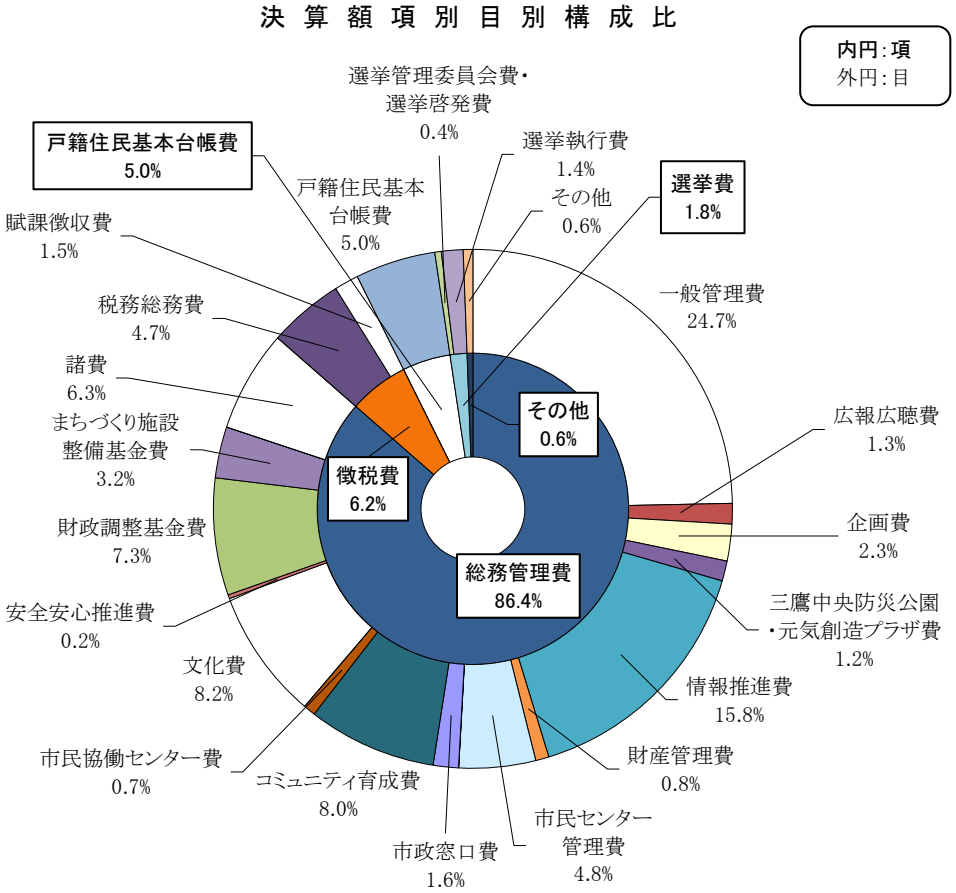


■予算現額・決算額と財源構成

（単位　千円）

	予算現額	決算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源	執行率
令和３年度	10,432,879	9,830,830	1,002,363	37,000	272,835	8,518,632	94.2%
令和２年度	28,240,759	27,479,673	19,938,157	0	179,372	7,362,144	97.3%
増減	△17,807,880	△17,648,843	△18,935,794	37,000	93,463	1,156,488	－

決　算　額　項　別　目　別　構　成　比



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

総務管理費

1　障がい者雇用の推進　　4,499,000円　　4,029,722円

〈職員人事管理費〉

障がいのある職員の更なる活躍等を図るため、令和２年８月に策定した「三鷹市障がい者活躍推進計画」に掲げた目標の達成に向けて、障がい者雇用を推進しました。

〔実績・内容〕

三鷹市における障がい者雇用の現状（令和４年６月１日現在）

雇用率　　市長部局　　2.82％

教育委員会　　3.27％

（法定雇用率　2.60％）

2　ストレスチェックの活用による職員のメンタルヘルス施策の推進

〈労働安全衛生管理関係費〉　　165,000円　　165,000円

職員の心の健康の保持・増進を図るため、ストレスチェックの集団分析結果を活用したラインケア(※)研修に取り組み、総合的なメンタルヘルス施策を推進しました。

※上司が部下の心の健康づくりのために職場環境の改善に取り組むこと。

〔実績・内容〕

ストレスチェックの集団分析結果の見方やメンタルヘルス不調の部下への対応等をテーマにした研修を、部長及び課長職を対象に実施しました。

3　「適正事務管理制度基本方針」の策定及び体制整備　　4,000,000円　　3,960,000円

〈内部統制関係費〉

平成29年の地方自治法の改正により努力義務とされている内部統制制度について、市における取組を「適正事務管理制度」と位置づけ、財務事務を中心とした更なる適正な事務執行を確保するための取組や庁内推進体制について検討を行い、令和４年４月１日に基本方針を策定しました。

〔適正事務管理制度の目的〕

①事務の効率的・効果的な遂行

②財務報告の信頼性確保

③法令等の遵守

④資産の保全

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

4　まちづくり応援寄付の推進　　14,281,738円　　8,180,250円

〈まちづくり応援寄附推進事業費〉

市の魅力発信や地域の産業振興、来訪者の増加につなげるため、まちづくり応援寄付（ふるさと納税）における寄付申込サイトの拡充を行うとともに、宿泊型返礼品の導入に向けた取組を進めました。また、三鷹市立アニメーション美術館の運営支援や吉村昭書斎（仮称）の整備において、クラウドファンディングを実施するなど収入確保と市の魅力発信に取り組みました。

〔実績・内容〕

寄付の受入

・ふるさと納税制度による返礼品を活用した寄付

受入実績　　11,990,000円（995件）

・クラウドファンディング

三鷹市立アニメーション美術館の運営支援（90ページ参照）

期　　間　　令和３年７月15日（木）～令和４年１月31日（月）

受入実績　　49,876,080円（6,228件）※海外からの寄付を含む。

吉村昭書斎（仮称）の整備（92ページ参照）

期　　間　　令和４年２月28日（月）～５月29日（日）

受入実績　　303,000円（９件）※令和４年３月31日収入分まで

・宿泊型返礼品の導入

返礼品として、日本が世界に誇る芸術家・建築家である荒川修作氏とマドリン・ギンズ氏が設計した「三鷹天命反転住宅」への宿泊券を導入するため、管理・運営する株式会社コーデノロジスト（※）と調整を進めました（令和４年５月に導入済み）。

※令和３年12月に連携協定を締結済み

【財源内訳】

寄附金	4,349,422円	一般財源	3,830,828円

5　たつの市姉妹都市提携20周年交流事業の実施　　100,000円　　50,000円

〈姉妹都市周年交流事業費〉

平成13年３月31日にたつの市と姉妹都市提携を結び、令和３年３月に提携20周年を迎えたことから、記念事業として三木露風顕彰事業特別講演を行いました。

〔実績・内容〕

・三木露風顕彰事業特別講演

三鷹市、たつの市の両市にゆかりのある三木露風を顕彰するとともに、姉妹都市提携20周年を記念したオンライン講演会を開催しました。

開 催 日　　令和３年12月４日（土）
講　　師　　姫路大学教育学部教授　和田典子氏
内　　容　　「三木露風　赤とんぼの情景－三鷹に住んだ詩人－」
参加者数　　ライブ配信　20名
　　ライブ配信視聴用会場（生涯学習センター）　10名

6　「Poki（ポキ）」の魅力の再発信　　655,000円　　655,000円

〈ポキ活用促進関係費〉

三鷹市立アニメーション美術館の誕生を記念して、地域の文化的・経済的発展に寄与することを目的とし、株式会社スタジオジブリの宮崎駿氏によって描かれた三鷹のキャラクター「Poki」が令和３年度に誕生20周年を迎えたことから、市民生活の様々な場面での活用を促進し、「Poki」の魅力を再発信しました。

〔実績・内容〕

「Poki」をデザインしたＷｅｂ会議等で使用できる壁紙やパソコン、スマートフォン用壁紙の無償提供を行うとともに、市の広報媒体や各種啓発品等での「Poki」の活用を促進し、認知度の向上を図りました。

壁紙の提供等のＷｅｂページアクセス総数　　延べ18,444件

■パソコン用壁紙

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

7　メディアミックスによる効果的なシティプロモーションの推進

〈音声・映像広報費〉　　5,049,000円　　3,634,400円

動画やＳＮＳなど多様な媒体を活用するメディアミックスの手法を用いて、既存の広報媒体に加え、YouTubeの「三鷹市公式動画チャンネル」の配信内容を拡充し、動画の特性を生かした情報発信を強化するなど、シティプロモーションの視点を持った戦略的な広報活動を推進しました。

〔拡充内容〕

市事業の紹介など配信動画の拡充

動画追加本数 118本、視聴回数 258,418回、チャンネル登録者数 854人増

8　みたか平和資料コーナーの拡充　　1,094,000円　　1,028,229円

〈非核・平和事業費〉

戦争関連資料の積極的な収集・保管・公開に努め、平和への思いを次世代へ継承するため、本庁舎３階のみたか平和資料コーナーの展示物を拡充するとともに、案内板を設置するなど平和資料コーナーの更なる周知を図りました。

〔関連事業費〕

みたか平和資料コーナー拡充に伴う女性交流室の情報提供機能の拡充

506,983円

【財源内訳】

繰　入　金	1,028,229円

■みたか平和資料コーナー

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

9　ＬＧＢＴ研修の実施　　75,000円　　74,800円

〈男女平等参画推進関係費〉

人権としての性の尊重を基礎としたまちづくりの推進に向けて、ＬＧＢＴに関する現状や課題、市職員に求められる配慮や対応など、正しい理解を深めるため、課長補佐及び係長を対象に研修を実施しました。

〔研修内容〕

ＬＧＢＴ当事者の方を講師として招き、性の多様性に関する基礎知識のほか、性的マイノリティが遭遇しやすい困りごとや職場・窓口対応での解決のヒントなど、当事者ならではの視点を踏まえた研修を実施しました。

10　男性向け対面相談の導入　　165,000円　　141,075円

〈男女平等参画推進関係費〉

男女平等参画に関する相談窓口として、女性向け対面相談「こころの相談室」、誰でも相談可能な電話相談「こころの相談ダイヤル」に加え、新たに男性カウンセラーによる男性向け対面相談「こころの相談室」を開設しました。

〔実績・内容〕

導入時期	令和３年７月
相談日時	毎月第３水曜日　午後５時～８時（50分／１回）
対 象 者	男性市民（在勤、在学、在活動含む）
相談内容	自己内面に関すること 家庭・職場等の人間関係に関すること ＤＶに関すること　等
相談件数	12件

11　働き方改革応援事業の推進　　943,707円　　532,262円

〈働き方改革応援事業費〉

働き方改革を実施したい市内企業と市が養成した働き方改革支援者（社会保険労務士）をマッチングする働き方改革応援事業について、令和３年度は「コロナ時代」における働き方改革として、企業向けセミナーの開催や支援者の育成などを通じて、市内事業者への支援を行いました。なお、東京都で類似の制度が導入されたことから、令和３年度の新規受付をもって事業を終了しました。

〔実績・内容〕

・企業向けセミナー

「コロナ時代における働き方改革」をテーマに、働き方改革の推進に興味のある企業に対してセミナーを開催しました。

開 催 日　　令和３年５月13日（木）

参加者数　　10人

・支援者養成講座

ＩＣＴ関連の課題に対してより専門的な支援を行うため、ＩＴコーディネーターを支援者として養成するとともに、既存の支援者（社会保険労務士）の更新研修を実施しました。

開 催 日　　令和３年５月20日（木）

参加者数　　14人

・企業支援

申請があった企業に支援者を派遣し、働き方改革の支援を行いました。

派遣企業数　　４社（うち、令和４年度継続企業３社）

12　三鷹国際交流協会における活動再開に向けた取組　　72,000円　　50,667円

〈三鷹国際交流協会運営費〉

外国籍市民の支援を中心とした活動について、Ｗｅｂ会議システムを活用した取組の推進や新型コロナウイルス感染症対策を行いながら従来の対面型事業を再開しました。

〔実績・内容〕

(1) 日本語教室でのＷｅｂ会議システムの活用

（協会事業費253,337円、うち市費充当分50,667円）

25課あるカリキュラムを10課にまとめたうえで、令和３年５月からリモートによりレッスンを再開しました。なお、参加者、ボランティアの意見や感染症の感染状況を踏まえて、令和４年１月より対面によるレッスンに切り替えました。

受講者数　　12人

(2) こども教室の再開

毎週の開催から隔週（第２・４土曜日）での開催に変更し、令和３年４月から再開しました。なお、児童・生徒を対象にしているため、Ｗｅｂ会議システムは使用せず、対面によるレッスンを継続しました。

受講者数　　７人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

13　三鷹ネットワーク大学での研究の支援　　3,752,000円　　2,950,453円

〈三鷹ネットワーク大学運営費、三鷹まちづくり総合研究所関係費〉

三鷹ネットワーク大学推進機構のシンクタンク機能を活用し、「ボランティアポイント・地域通貨（仮称）」の導入や持続可能な都市農業に向けた調査研究を行ったほか、公募による市民研究員「まちづくり研究員」の研究を支援し、その成果を公表するなど、三鷹市のまちづくりに資する取組を推進しました。

〔実績・内容〕

(1) ボランティアポイント・地域通貨（仮称）の研究　　478,000円

「みたか地域通貨・ボランティアポイント研究会」を中心に、令和２年度のプレミアム付商品券事業の調査結果の検証等を踏まえ、デジタル地域通貨の流通可能性や令和４年度の導入に向けた制度設計等の研究を行いました。

(2) 持続可能な都市農業の研究　　228,300円

三鷹市の都市農業に係る具体的な施策を提言することを目的として、「持続可能な都市農業に向けた研究会」を新たに設置しました。

令和３年度は、学校給食における市内産農産物の使用率向上に向け、対象とする農産物の規格基準の再設定や契約栽培事業の導入など実効性のある提言を行うとともに、研究会で抽出された課題等を踏まえ、今後の研究内容を検討しました。

(3) デジタルコミュニケーションツールへの試行運用　　1,000,000円

外郭団体等を拠点に地域活動を行う市民が、効率的かつ簡単に情報共有や活動情報の発信等が行えるデジタルコミュニケーションツールについて、本格的な運用に向けた試行・検証を行いました。

(4) 「まちづくり研究員」の活性化　　1,244,153円

令和２年度の研究成果として提出された論文について、学識者が査読を行い、令和３年10月に三鷹ネットワーク大学が発行した紀要に掲載するとともに、成果発表会を開催するなど、広く取組内容を公開しました。

また、その研究の実証実験の場として「民学産公」協働研究事業へつなげるなど、事業化に向けた仕組みづくりと研究支援に取り組みました。

〔関連事業費〕

総務費　新たな市民参加の実践　　30,272,017円（80ページ参照）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

14　市制施行70周年記念事業の実施　　14,215,000円　　14,186,490円

〔うち令和２年度からの繰越分　5,280,000円　　5,280,000円〕

〈市制施行70周年記念事業関係費、同事業費（繰越明許費執行額）〉

新型コロナウイルス感染症の影響により１年延期した「記念式典」を開催しました。開催に当たっては、感染症対策の観点から式典を２部構成とし、表彰の規模は変えず招待人数を抑制しながら実施しました。なお、「ふるさと三鷹周年祭」は感染状況を考慮して、開催を見送りました。

〔実績・内容〕

・記念式典　　7,917,860円

市制施行70周年の節目をこれまでの三鷹市の歩みを振り返る機会とするとともに、市政への功績を称え関係者の表彰を行いました。式典に合わせて、令和３年９月に推挙された名誉市民に対し「名誉市民証」及び「名誉市民章」の贈呈を行いました。

日　　時　　令和３年11月３日（水・祝）午前10時～午後３時
会　　場　　三鷹市公会堂光のホール
名誉市民　　安田養次郎氏（第５代三鷹市長）
　　沼尻竜典氏（音楽家）
関連事業　　姉妹・友好市町村交流事業は、感染状況を考慮して中止しました。

・その他事業　　6,268,630円

記念誌の発行を行うとともに、バス車内のデジタルサイネージで市制施行70周年記念映像を放映するなど、市制施行70周年の更なる周知に取り組みました。

【財源内訳】

繰越金	5,280,000円	一般財源	8,906,490円

■70周年記念式典（左）／三鷹市名誉市民表彰（右）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

15　四市行政連絡協議会における公務員の働き方改革に関する検討

〈多摩・島しょ広域連携活動事業費〉　　4,950,000円　　4,934,132円

三鷹市、小金井市、武蔵野市、西東京市の４市で構成する四市行政連絡協議会において、「公務員の働き方改革」をテーマとし、リモートワークの導入に関する調査・研究に取り組みました。実施に当たっては、東京都市長会の「多摩・島しょ広域連携活動助成金（補助率10／10）」を活用しました。

〔実績・内容〕

- ４市の企画、総務・人事関連部署が合同でリモートワークの現状分析（導入・検討状況、課題の把握）及び先進事例の研究、現状と課題に向けたヒアリング調査の実施
- ４市の職員及び市民のリモートワークに対する考え方、評価などの把握を目的としたアンケート調査の実施
- リモートワーク経験のない課長職、課長補佐職及び係長職の職員による実証実験とリモートワークの課題・解決方法の検証、考察

【財源内訳】

諸　収　入	4,934,132円

16　新たな市民参加の実践　　37,158,000円　　30,272,017円

〈参加と協働推進事業費〉

令和５年度の「三鷹市基本構想」の改正と令和６年度の「第５次三鷹市基本計画」の策定に当たり、ＳＤＧｓの目標など未来に向けた持続可能なまちづくりの視点で検討を行うため、市民ボランティアで構成する「市民参加でまちづくり協議会（Machikoe（マチコエ））」を令和３年10月に設立しました。協議会員が市民参加の実践により、多様な市民の思いやアイデアを聴いて政策提案につなげることを目指し、政策テーマ別の部会・グループで計150回以上の会合を行うなど、新たな市民参加の取組を開始しました。

また、三鷹まちづくり総合研究所に設置した「みたか地域通貨・ボランティアポイント研究会」を中心に行った研究の結果を踏まえ、令和４年10月の導入に向けて、「ボランティアポイント・地域通貨（仮称）」事業基本方針を令和４年２月に策定しました。

〔実績・内容〕

・市民参加でまちづくり協議会の活動

「三鷹市基本構想」の改正や「第５次三鷹市基本計画」の策定に向けた政策提案に結実させることを目的に、市民の思いやアイデアを市政に反映させるための立案者として、また、地域の課題を市民とともに解決する支援者として、傾聴・対話・共感の活動方針をもとに、これまでにない新たな市民参加の取組を展開しています。

市民ボランティア人数　　363人（令和４年３月31日時点）

・政策テーマ部会（７部会）

市への政策提案に向けて、研究テーマにおける課題や解決策（アイデア）等について議論し、部会ごとに取り組む政策テーマを決定しました。令和４年３月26日（土）に全体会を開催し、部会の検討状況を発表しました。

政策テーマ部会・グループ開催回数　　延べ156回(令和４年３月31日時点)

政策テーマ部会の人数内訳（令和４年３月31日時点）

①快適なまちづくり部会　69人②活力のあるまちづくり部会　62人
③安全なまちづくり部会　30人④安心なまちづくり部会　38人
⑤子どもが輝くまちづくり部会　61人⑥心ゆたかなまちづくり部会　57人
⑦ふれあいのまちづくり部会　46人　計　363人

・デジタル・コミュニケーション支援

ZoomやSlack等のデジタル技術を活用した市民参加を推進するために、民間事業者と連携しながら、協議会員向けの支援を実施しました。

・「ボランティアポイント・地域通貨（仮称）」事業基本方針の策定

ボランティア活動や地域活動などのコミュニティ活動への参加促進と地域経済の活性化を図ることを目的に、ポイントと地域通貨の特徴を合わせ持つ「地域ポイント」を導入します。「環境」「健康」「文化」「子育て」など年度ごとのテーマを設定し、地域ポイントと連携した事業を展開することで、地域課題の解決や地域の賑わいを創出し、ともに支え合う新しい地域社会の実現を目指します。

〔関連事業費〕

総務費　三鷹ネットワーク大学での研究の支援　　2,950,453円

(78ページ参照)

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

17　市民参加の拠点整備　　53,866,810円　　53,673,645円

〈市民参加推進拠点整備事業費〉

市民参加の活動場所及び三鷹駅前再開発の拠点として、新たに参加と協働拠点施設を整備し、令和３年11月にオープンしました。本施設については将来的な市役所機能の分散ネットワーク化を視野に入れたリモートワーク、フリーアドレスのモデル的な実証実験の場としても活用しています。

〔実績・内容〕

所 在 地　　下連雀三丁目33番３号
面　　積　　182.87㎡
開 設 日　　令和３年11月９日（火）
施設機能　　市民参加でまちづくり協議会活動拠点、企画部参加と協働推進室、デジタル・コミュニケーション支援拠点

【財源内訳】

都支出金	27,520,000円	一般財源	26,153,645円

■参加と協働拠点施設の内観

18　国立天文台と連携したまちづくりの推進　　3,113,000円　　2,805,000円

〈国立天文台連携まちづくり事業費〉

令和２年12月３日に国立天文台と締結した相互協力に関する協定に基づき、同天文台敷地を中心とした総合的なまちづくりに向けた検討を行いました。令和３年度は、まちづくりの目標やゾーニングの考え方などを盛り込んだ土地利用基本方針の策定に向けた取組を進めました。

〔実績・内容〕

国立天文台の緑地保全・敷地の有効活用を通した魅力あるまちづくりを行うことを目的に、地域団体へのヒアリングや説明会等を開催しました。

・地域団体等へのヒアリングの開催
　開催時期　　令和３年10月～令和４年２月
　参加団体　　大沢地域の住民協議会、町会、自治会、おおさわ学園（大沢台小学校、羽沢小学校、第七中学校）のＰＴＡ役員会、コミュニティ・スクール委員会、教職員　等
　参加者数　　136人
・国立天文台周辺のまちづくり「説明会とパネル展示」の開催（計３回）
　開 催 日　　令和４年１月９日（日）、19日（水）、23日（日）
　参加者数　　96人

19　人権基本条例（仮称）の制定に向けた取組　　133,000円　　27,400円

〈人権基本条例（仮称）関係費〉

市が基本構想で掲げる基本的人権が尊重される地域社会の実現を目指し、「人権基本条例（仮称）」の制定に向けて審議会等での意見を聴きながら検討を進めました。なお、条例の検討に当たっては、多くの共感を得ながら、丁寧に進めることとしたため、条例の上程時期を令和５年度に見直しました。

【財源内訳】

都支出金	10,200円	一般財源	17,200円

20　ウクライナへの人道支援のための救援金等　　10,064,721円　　10,064,721円

〈まちづくり応援寄附推進事業費、ウクライナ緊急支援事業費〉

ロシア連邦の軍事侵攻により甚大な被害がでているウクライナに対し、市民をはじめとした多くの方々の支援の気持ちを現地の人道支援に役立てられるよう、募金の受付を開始し、必要経費を除いた額を、救援金として日本赤十字社へ寄付しました。

また、市内に避難してきたウクライナの方に対し、緊急的な生活支援として給付金を支給しました。

〔実績・内容〕

・募金及び救援金
　募金受付期間　　令和４年３月10日（木）～令和４年３月31日（木）
　募 金 額　　9,974,721円
　　内訳　募金箱（17箇所）による寄付　2,064,721円
　　ふるさと納税による寄付　7,910,000円
　救援金額　　8,411,588円

・緊急生活支援給付金
　給付人数　　３人
　給付金額　　90,000円

【財源内訳】

寄附金	9,974,721円	一般財源	90,000円

21　多文化共生センター（仮称）整備に向けた取組　　19,000円　　0円

〈多文化共生センター（仮称）関係費〉

三鷹駅前再開発の中での整備を計画しており、多文化共生センター（仮称）の整備に向けた基本方針の策定には至りませんでした。男女平等参画審議会やみたか国際化円卓会議で意見を聴きながら、多文化共生を中核に、多様な性としての人権の尊重を含めた男女平等参画、平和施策の推進の３つの機能を担う拠点としての整備に向けて検討を進めました。

22　ふるさと三鷹応援団の任命に向けた取組　　508,000円　　0円

〈ふるさと三鷹応援団事業費〉

市の魅力発信、イメージアップ等を図るため、市内外において宣伝活動等を行う「ふるさと三鷹応援団」の任命を行いました。

〔実績・内容〕

就任者　　林家木久扇氏、林家木久蔵氏
任命日　　令和３年６月１日（火）
任　期　　２年間（その後は、退任の申し出がない限り１年間の自動更新）
活動内容　　「成人を祝福するつどい」での新成人へのメッセージ動画の発信など

23　三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総点検　　8,315,000円　　7,807,800円

〈三鷹中央防災公園・元気創造プラザ管理運営費〉

三鷹中央防災公園・元気創造プラザの利用者満足度を向上させ、利用促進を図るため、令和元・２年度に実施した市民参加、職員参加によるワークショップや学識参加による助言者会議での意見を踏まえて、令和３年７月に「施設運営の基本的な考え方（※）」をまとめました。新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、オンラインを活用しながら、助言者会議や各フロアの職員同士でワークショップを実施するとともに、各フロアの要素を掛け合わせた情報発信動画を作成し、YouTubeの「三鷹市スポーツと文化部チャンネル」で公開しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

※「複合施設から融合施設へ」「魅力的な場づくりのための更なる改善」「市民参加の推進」「学識参加と職員参加」「市民ニーズに対応した施設の改修と機能の改善」の５つの考え方をもとにより良い施設運営を目指します。

24　デジタル環境の整備　　－　　－

災害時における通信手段の多重化とともに、平常時における市民活動を支援するため、公共施設等にデジタル（Wi-Fi）環境を整備しました。

〔実績・内容〕

(1) 実施施設

・コミュニティ・センター（７箇所）（一次避難所）（88ページ参照）

・芸術文化センター（帰宅困難者支援拠点）（90ページ参照）

・消費者活動センター（帰宅困難者支援拠点）【商工費】（147ページ参照）

※災害時の防災拠点で、市民活動の拠点となる公共施設等について令和２年度より優先的に整備を行いました。

(2) 利用方法

平常時はメールアドレス等で認証を行った上で１回60分、災害時は１回15分（回数制限なし）

25　スマートシティ三鷹の実現　　15,594,000円　　15,444,000円

〈情報系システム関係費、地域情報化推進関係費〉

スマートシティ三鷹の実現に向けて、デジタル技術を活用した誰もが暮らしやすいまちづくりの方向性を明確にするため、実証を行いながら基本方針の検討を進め、令和４年６月に確定しました。

〔実績・内容〕

(1) 防災分野における実証

避難所の受付等についてスマートフォンのアプリや顔認証技術の活用、避難者の健康状態の管理に向けた実証を行いました。

(2) 各種手続のオンライン化

東京都市長会における事業の一環として、新たにオンライン申請システム（LoGoフォーム）を活用して、各種手続等のオンライン化に向けた実証を行いました。

(3) ビジネスチャットの導入

災害時や平時における迅速な意思決定と情報共有のための手段として、職員端末やスマートフォン等で利用可能なビジネスチャットを導入しました。

(4) 二酸化炭素濃度測定器の活用

国立大学法人電気通信大学と連携して、公共施設内に測定器を設置し、二酸化炭素濃度のデータ収集と分析を行い、適切な換気等を行うための実証実験を共同で実施しました。

【財源内訳】

都支出金	13,899,000円	一般財源	1,545,000円

26 住民情報システムの共同利用（東京自治体クラウドの導入）

〈住民情報システム共同利用推進事業費〉　　452,697,000円　429,682,594円

三鷹市、立川市、日野市の３市による共同事業として、令和３年11月より住民情報システムの共同利用を開始しました。また、令和４年１月には、４市目として小金井市が加わりました。

〔実績・内容〕

共同利用の導入効果

・法改正によるシステム対応などの１市当たりの費用負担の軽減

・法改正対応などの情報を構成団体で共有・相談することにより、効率的な業務の実施　など

〔債務負担行為の内容〕

住民情報システム共同利用推進事業（令和３年度分）　22,717,310円

（令和４～13年度＜債務負担分＞172,101,600円　全体事業費194,818,910円）

【財源内訳】

都支出金	107,546,000円	諸収入	2,500,000円
一般財源	319,636,594円		

27 公共用地の売払い　　1,278,000円　1,189,100円

〈公共施設管理関係費〉

財源確保等の観点から、公共用地を売却しました。

〔用地の概要〕

(1) 中原三丁目公共用地

「三鷹市土地利用総合計画2022」において、住環境保全ゾーンに位置付けられており、良好な環境の創出及び財源確保の観点から、条件付き一般競争入札により売却しました。

所在地　　中原三丁目579番１

面　積　　2,117.67㎡

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

(2) 新川三丁目公共用地（遺跡調査会跡地）
条件付き一般競争入札により売却しました。
所在地　　新川三丁目331番４外
面　積　　1,057.32㎡
〔関連歳入〕
財産収入　　725,000,010円

28　「新都市再生ビジョン（仮称）」の策定　　13,544,000円　　13,525,373円

〈新都市再生ビジョン（仮称）策定関係費〉

令和３年３月に策定した「三鷹市防災都市づくり方針」や施設の劣化診断などの基礎調査の結果等を踏まえ、公共施設の建替え・改修の基本的な方針と優先順位の考え方、中・長期的な修繕計画を盛り込んだ「新都市再生ビジョン（仮称）」の令和４年度の策定に向けた取組を進めました。

〔実績・内容〕

・「新都市再生ビジョン（仮称）策定に向けた基本的な考え方」を令和３年９月にとりまとめ、計画策定の背景や対応の方向性などを示しました。
・「中間まとめ」の策定に向けて、施設マネジメントの考え方や施設整備の方向性などの検討を進めました。

29　本庁舎排水配管の改修　　6,245,000円　　4,664,000円

〈市民センター改修事業費〉

令和元年９月から令和２年２月に実施した庁舎・議場棟等劣化診断に基づき、早急に対応が必要な本庁舎排水配管の改修に向けた設計を行いました。

〔実績・内容〕

(1) 本庁舎改修の基本的な考え方
令和４年度に策定する「新都市再生ビジョン（仮称）」において、中・長期的な修繕計画を定め、計画的な改修を行っていくことを基本とし、同計画を策定する令和４年度までは、緊急性の高い箇所について改修工事を行います。

(2) 排水配管改修工事の概要
工　　期　　令和３年４月～９月　設計
　　令和４年４月～９月　改修工事
改修範囲　　本庁舎地下２階～５階湯沸室
改修内容　　汚水縦配管、雑排水・通気配管の更新、未使用ガス管の撤去等

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

30　地域コミュニティ活性化の推進　13,339,000円　8,038,048円

(1) コミュニティ創生研究事業の推進　240,000円　45,865円

〈コミュニティ創生研究事業費〉

地域の関係性の希薄化、高齢化、担い手不足に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、福祉、防災、教育の３つをキーワードに、これからのコミュニティのあり方について検討を進め、令和４年３月に「これからのコミュニティのあり方に関する基本的な考え方」を策定しました。

(2) 行政書士等による町会・自治会等の事務機能支援の推進

〈市民組織活動助成費〉　100,000円　10,000円

高齢化等による担い手不足が課題となっている町会等の実情に応じて行政書士を派遣し、規約改正の支援を行いました。

〔実績・内容〕

派遣件数　　１件（１団体）

(3) 町会・自治会等の掲示板更新への支援　2,010,000円　1,786,500円

〈市民組織活動助成費〉

各町会・自治会等が設置した掲示板の老朽化が進んでいるため、建替え・修繕等に係る補助制度を創設し、地域に密着した情報提供の場の確保を図りました。

〔実績・内容〕

補助金名　町会等地域自治組織掲示板設置等補助金
対象経費　掲示板の設置等を行うために要した費用
補助金額　建替え　150,000円、修繕　60,000円、修繕を伴う移設　90,000円 等（補助率３／４）
補助件数　建替え　１件、修繕　86件、修繕を伴う移設　１件

(4) コミュニティ・センターのデジタル環境の整備

10,989,000円　6,195,683円

〈コミュニティ・センター管理関係費、コミュニティ・センター改修等事業費〉

災害時における通信手段の多重化とともに、平常時における市民活動を支援するため、各コミュニティ・センターにデジタル（Wi-Fi）環境を整備しました。

【財源内訳】

都支出金	3,434,000円	一般財源	2,761,683円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

31　地区公会堂トイレの洋式化　　3,253,800円　　3,253,800円

〈地区公会堂維持管理費〉

和式トイレのある地区公会堂について、和式トイレのみのフロアがある２箇所（下連雀むらさき、山中）、要望のあった１箇所（上連雀）について、トイレの洋式化改修工事を実施しました。

なお、実施に当たっては、東京都の「ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助金（補助率２／３）」を活用しました。

【財源内訳】

都支出金	1,991,000円	一般財源	1,262,800円

32　井の頭東部地区公会堂耐震補強等工事の実施　　32,234,000円　　20,900,000円

〈井の頭東部地区公会堂耐震補強等事業費〉

令和２年度に実施した耐震診断の結果を踏まえ、震災時における一層の安全性確保を図るため、耐震改修の評定、耐震補強設計及び工事を切れ目なく実施し、併せて施設の長寿命化を図るため、屋上防水、外壁改修を行いました。

【財源内訳】

都支出金	16,000,000円	一般財源	4,900,000円

33　地域コミュニティ向けオンライン講座の拡充　　8,143,000円　　7,100,447円

〈市民協働センター管理関係費、市民協働推進事業費〉

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、活動が制限されている住民協議会や町会等の活動の継続を支援するため、効果的なオンライン会議の手法等を指導する市民サポーターを養成しました。また、市民サポーター等による地域コミュニティ向けオンライン講座を令和２年度に未実施の４箇所のコミュニティ・センター（大沢・牟礼・新川中原・三鷹駅前）にも拡充するとともに、事業継続のフォロー講座を引き続き実施しました。

〔実績・内容〕

・市民サポーター養成講習会
　養成者数　　20名
　開催回数　　２回

・市民サポーターによる地域コミュニティ向けオンライン講座
　参加者数　　91名（８団体）
　開催回数　　８回

・市民サポーターによる事業継続に向けたフォロー講座
　参加者数　　149名（12団体）
　開催回数　　12回

34　芸術文化施設におけるデジタル環境の整備　　3,864,000円　　1,946,300円

(1) 芸術文化センターにおけるデジタル環境の整備　　3,626,000円　　1,708,300円

〈芸術文化施設管理関係費〉

災害時における通信手段の多重化とともに、平常時における市民活動を支援するため、帰宅困難者支援拠点で、市民活動の拠点となる芸術文化センターにデジタル（Wi-Fi）環境を整備しました。

【財源内訳】

都支出金	102,000円	一般財源	1,606,300円

(2) キャッシュレス決済の導入　　238,000円　　238,000円

〈スポーツと文化財団運営費〉

美術ギャラリーでの観覧料や物品販売について、交通系電子マネー等によるキャッシュレス決済を試験的に導入し、決済方法の多様化による市民の利便性向上及びコロナ禍における非接触型の決済手段の導入により衛生面での安全性の確保を図りました。

35　三鷹市立アニメーション美術館の運営支援　　53,538,525円　　52,878,535円

〈まちづくり応援寄附推進事業費、アニメーション美術館管理等関係費〉

これまで三鷹市立アニメーション美術館の自主事業として開催していた「三鷹市及び近隣市民デー」及び「三鷹市民デー」について、臨時休館や入場制限など新型コロナウイルス感染症の影響により年間を通した入館料収入の大幅な減収が続いた状況を勘案して、市の事業として実施することで運営支援を行いました。

また、感染症の影響による入館料収入の大幅な減収により、大規模修繕を目的とした積立金の取り崩しなど施設の運営と今後の計画的な維持保全に影響が生じていることから、ふるさと納税を活用した運営支援交付金の仕組みを構築し、積極的に寄付を募集し、持続可能な施設運営に向けて財政支援を行いました。

〔実績・内容〕

・三鷹市及び近隣市民デー、三鷹市民デーの開催　　3,000,000円

日　　程　　三鷹市及び近隣市民デー　令和３年10月１日（金）

三鷹市民デー　　令和３年10月３日（日）

招待者数　　三鷹市及び近隣市民デー　　767人

三鷹市民デー　　1,208人

・ふるさと納税の活用　　5,019,535円

三鷹市立アニメーション美術館における今後の大規模修繕を見据えて、ふるさと納税を活用した運営支援交付金の仕組みを構築し、国内外から多くの寄付を受けました。寄付した方には、三鷹市立アニメーション美術館からのお礼のカードを送付しました。

寄付総額　　49,876,080円（6,228件）

※国内 41,650,389円(4,982件)、海外 8,225,691円(1,246件)

・運営支援交付金　　44,859,000円

【財源内訳】

寄附金	49,876,080円	一般財源	3,002,455円

36　太宰治文学サロンの機能拡充　　**4,940,000円**　　**3,084,262円**

〈文学者顕彰事業費〉

令和２年12月から美術ギャラリー第３展示室にて開設した「太宰治展示室」との連携を図るとともに、これまでに寄贈・寄託された多くの関係書籍等を活用した「ブックカフェ」の機能を整備し、太宰作品を中心とした市民の交流の場を創出しました。

〔実績・内容〕

開 館 日　　令和４年３月１日（火）

拡充内容　　・「山内祥史文庫」を中心とした太宰治氏に関する書籍約1,500冊の展示

・サロン内で販売する焼き菓子等を楽しみながら、施設内の本を座って読むことができるスペースの確保

■ブックカフェの様子

37　吉村昭書斎（仮称）の整備　　3,600,000円　　3,488,100円

〈吉村昭書斎（仮称）整備事業費〉

三鷹市ゆかりの文学者である故・吉村昭氏を顕彰するため、執筆活動を行っていた書斎や和室を移設・再現するとともに、展示機能を付加した文化施設の令和５年11月の開館を目指して整備します。令和３年度は、書斎の魅力を活かした施設となるよう設計者を決めるプロポーザルを実施し、設計を進めました。設計に当たっては、市内外のファンの共感が得られるよう全国から寄付を募りました。

〔施設概要〕

所 在 地　　井の頭三丁目３番17号

敷地面積　　約258㎡（書斎棟　約35㎡、展示・交流棟 約60㎡）

展示内容　　吉村昭氏の書斎の移設・再現するとともに、吉村昭氏の作品に加え津村節子氏の作品、また、執筆活動に関する資料　など

〔実績・内容〕

寄付の受入

寄付総額　　303,000円（９件）※令和４年３月31日収入分まで

〔債務負担行為の内容〕

吉村昭書斎（仮称）設計等業務委託事業　　2,970,000円

（令和４年度＜債務負担分＞6,930,000円　全体事業費9,900,000円）

【財源内訳】

寄　附　金	303,000円	一　般　財　源	3,185,100円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

38　民間ビルを活用した市民の美術作品発表の場「桜井浜江記念市民ギャラリー」の開設　　10,196,290円　　9,699,294円

〈桜井浜江記念市民ギャラリー関係費〉

三鷹駅前の民間マンション１階スペースを賃借し、故・桜井浜江氏の画業を顕彰するとともに、市民の美術作品発表の場とするため、施設開設に向けて整備を行いました。

当該施設が、太宰治氏とも親交が深く作品のモデルにもなった画家、桜井浜江氏のアトリエ跡であり、絵画作品や遺品等も市に寄贈されていることから、施設名称を「桜井浜江記念市民ギャラリー」としました。

〔施設概要〕

所在地　　下連雀三丁目42番３号

面　積　　30.44㎡

※令和４年４月、５月は市で企画展を開催し、市民への貸出し（有料）は６月より開始

【財源内訳】

都支出金	4,380,000円	一般財源	5,319,294円

39　自動通話録音機の設置促進　　1,100,000円　　1,056,000円

〈安全安心推進費〉

振り込め詐欺など特殊詐欺の犯罪被害防止を図るため、引き続き、希望者等へ自動通話録音機を貸与しました。

〔実績・内容〕

貸与台数　　144台（公募分89台、地域包括支援センター21台、警察署34台）

貸与対象　　市内在住の65歳以上の高齢者が居住する世帯

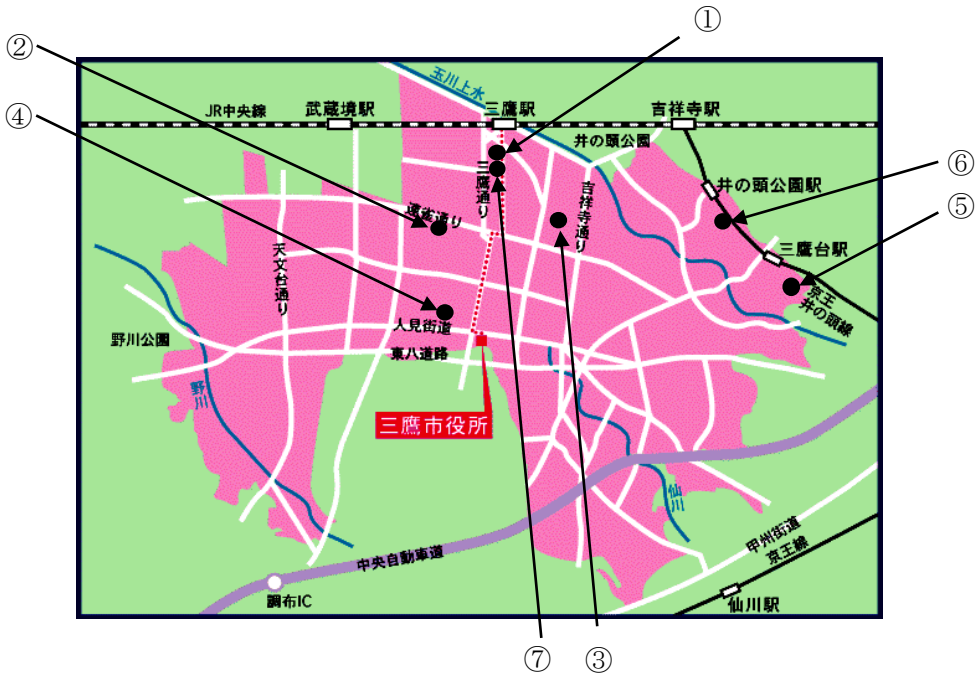
※平成27年度からの累計貸与数1,314台

【財源内訳】

都支出金	352,000円	一般財源	704,000円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

令和３年度に取り組んだ主な施設等整備



【総務管理費】

①市民参加推進拠点	市民参加の拠点整備
②上連雀地区公会堂	地区公会堂トイレの洋式化
③下連雀むらさき地区公会堂	地区公会堂トイレの洋式化
④山中地区公会堂	地区公会堂トイレの洋式化
⑤井の頭東部地区公会堂	井の頭東部地区公会堂耐震補強等工事の実施
⑥吉村昭書斎（仮称）	吉村昭書斎（仮称）の整備
⑦桜井浜江記念市民ギャラリー	民間ビルを活用した市民の美術作品発表の場「桜井浜江記念市民ギャラリー」の開設

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

戸籍住民基本台帳費

1　マイナンバーカードの普及促進　　193,090,838円　176,657,413円

〈社会保障・税番号制度推進関係費〉

令和３年12月に改訂した「マイナンバーカード交付円滑化計画」に基づき、マイナンバー交付予約システム及びコールセンターの運用により、引き続き早期交付に努めました。また、国の新たなマイナポイント事業に対応した申請などを支援するため、令和４年１月から問い合わせに対応するコールセンターを開設するとともに、令和３年12月末までの予定であったマイナポイント申請等支援窓口を、「マイナンバーカード交付申請等支援窓口」として拡充し、支援体制の強化を図りました。

また、令和４年度末に全国の自治体で一斉導入が予定されているマイナポータルを活用した「引越しワンストップサービス」について、国による令和３年度の現地検証に多摩地域から唯一参加し、「書かない」「ワンストップ」の窓口サービスの実現に向けて、マイナンバーカード事務に係る市の窓口での取組の説明や新たな提案をしました。なお、同事業に係るシステム改修経費については、国の方針に基づき、国庫補助金を確保するため令和３年度補正予算に計上し、繰越明許費を設定のうえ、事業費を繰り越しました。

〔実績・内容〕

マイナンバーカード発行枚数　　31,411枚（累計87,398枚、交付率45.9％）

〔繰越明許費繰越額〕

令和４年度への繰越分

基幹系システム関係費　　1,485,000円

【財源内訳】

使用料手数料	121,600円	国庫支出金	175,224,339円
一般財源	1,311,474円		

■マイナンバーカード交付申請等支援窓口（左）／現地検証の様子（右）

選挙費

1　東京都議会議員選挙の執行　　75,272,000円　　61,692,884円

〈東京都議会議員選挙執行費〉

令和３年７月４日に選挙を執行しました。

選挙の執行に当たっては、投票所へのアルコール消毒液の設置や場外整理員の配置など、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いました。

〔投票率〕

東京都議会議員選挙　　42.54％

【財源内訳】

都　支　出　金	60,879,188円	一　般　財　源	813,696円

2　衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行　　87,793,000円　　70,656,782円

〈衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行費〉

令和３年10月31日に選挙を執行しました。

選挙の執行に当たっては、投票所へのアルコール消毒液の設置や場外整理員の配置など、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いました。

〔投票率〕

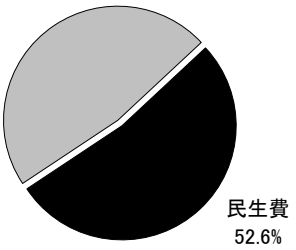
・衆議院（小選挙区選出）議員選挙　　60.41％
・衆議院（比例代表選出）議員選挙　　60.40％
・最高裁判所裁判官国民審査　　60.40％

【財源内訳】

都　支　出　金	70,385,292円	一　般　財　源	271,490円

第3款　民生費

■一般会計に占める割合



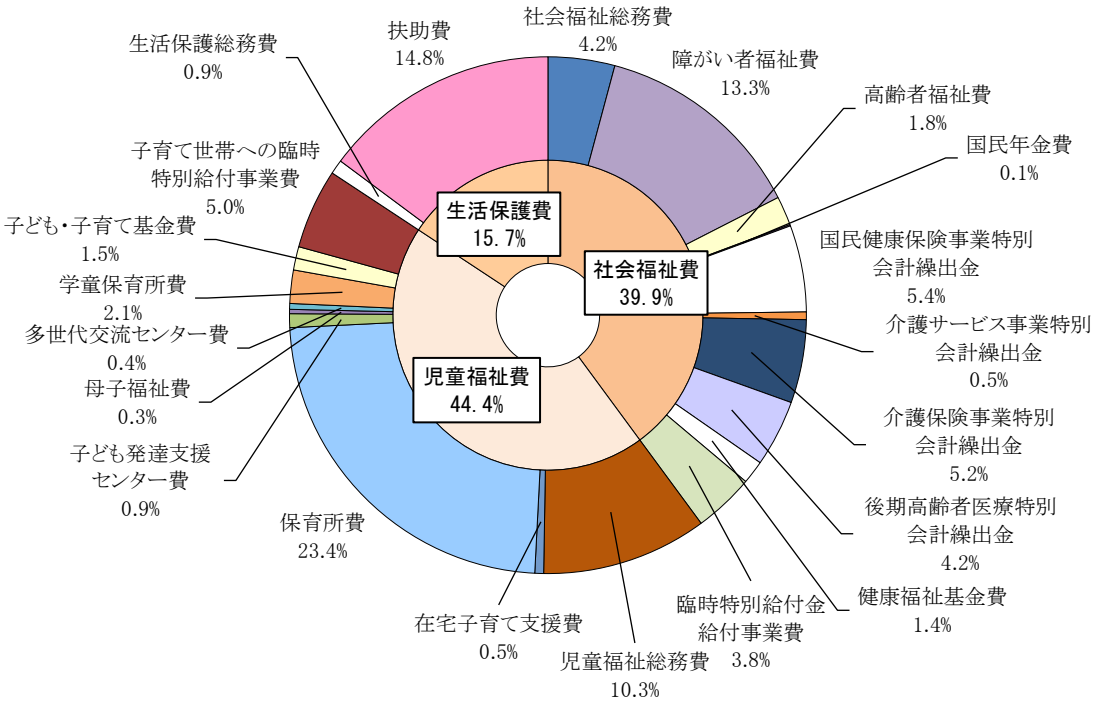
■予算現額・決算額と財源構成

（単位　千円）

	予算現額	決算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源	執行率
令和３年度	44,741,824	41,254,681	22,358,243	0	926,027	17,970,411	92.2%
令和２年度	38,748,750	36,302,123	18,919,939	0	897,173	16,485,011	93.7%
増減	5,993,074	4,952,558	3,438,304	0	28,854	1,485,400	－

決　算　額　項　別　目　別　構　成　比

内円：項
外円：目



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

社会福祉費

1　地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展　　13,705,802円　　8,400,369円

〈地域ケアネットワーク推進事業費〉

住み慣れた地域で、誰もが安心していきいきと暮らすことができる共助のまちづくりを目指し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、７箇所の地域ケアネットワークの活動などを引き続き支援しました。

〔実績・内容〕

・Zoomを使ったオンラインを活用し、地域ケアネットワークの各種会議や傾聴ボランティアの一部の活動などを実施（計74回）しました。

・傾聴ボランティア養成講座については、新型コロナウイルス感染症の影響で参加人数を制限して実施し、16人の傾聴ボランティアを養成しました。

【財源内訳】

都支出金	4,200,000円	一般財源	4,200,369円

2　より実践的な避難行動要支援者名簿の整備と活用　　14,128,198円　　11,188,733円

〈災害時避難行動要支援者支援事業費〉

令和３年改定の「三鷹市地域防災計画」に基づき、災害時に支援が必要な「避難行動要支援者」に対して、より迅速できめ細かな支援活動を行えるよう庁内関係部署や「避難行動要支援者名簿の提供と支援に関する協定」締結団体との連携を図るとともに、より実践的な名簿の活用に向けて、登録情報の充実や新たに地図情報機能の搭載など、システムの更新を行いました。

〔実績・内容〕

・協定締結等団体への研修会の開催

開催日時　　令和３年10月５日（火）午後２時～３時30分

参加人数　　54人（リモート参加含む）

研修内容　　令和３年度災害対策基本法及び三鷹市地域防災計画の改定内容の紹介、個別避難計画作成を見据えた事業の今後の方向性、三鷹市避難行動要支援者名簿の活用例の紹介、意見交換　等

・システムの更新

高齢者や障がい者など特別な配慮が必要な要支援者の抽出や、地図情報機能によるハザードエリア（浸水予想区域、土砂災害警戒区域など）の居住者の情報抽出を可能にするとともに、個別避難計画作成機能を兼ね備えたものとしました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

【財源内訳】

都支出金	4,220,000円	一般財源	6,968,733円

3　権利擁護センター運営体制の充実　　37,064,000円　　30,149,961円

〈権利擁護センター運営事業費〉

「権利擁護センターみたか」における福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理業務、成年後見制度に関する相談件数などが増加しているため、権利擁護センターの正規職員を１人増員し、運営体制の拡充を図りました。

また、権利擁護事業や成年後見制度の利用促進に関する施策を今後さらに総合的に推進するため、令和４年３月に「三鷹市成年後見制度利用促進基本計画」を策定し、地域連携の仕組みづくり等を進めるための中核機関として「権利擁護センターみたか」を位置付けました。

〔実績・内容〕

相談事業　　8,247件（前年度比564件増）

福祉サービス利用援助事業　　83件

【財源内訳】

都支出金	11,671,000円	諸収入	14,500円
一般財源	18,464,461円		

4　リフト付きタクシーの利便性の向上　　2,039,700円　　1,868,910円

〈リフト付乗用自動車運行事業費〉

一般の交通手段の利用が困難で車いすを利用又は寝たきり等の状態にある高齢者及び障がい者が利用できるリフト付きタクシーについて、１台を借り上げての運行から、複数台での運行が可能な事業者と、一運行ごとの単価契約による方式に変更し、より多くの方が利用できるように市民の移動手段としての利便性の向上を図りました。

〔実績・内容〕

運行回数　　566回（前年度比450回増）

利用実人数　　238人（前年度比192人増）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

5　生活困窮者の支援体制の拡充　　149,017,000円　129,694,712円

〈生活困窮者自立相談支援事業費、生活困窮者住居確保給付金支給事業費〉

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う休業等により収入が減少し、住居を失うおそれが生じている方のための住居確保給付金について、国の経済対策により、支給期間を最長９か月から12か月まで延長するとともに、再支給の申請を開始し、継続して支給を行いました。

また、長引くコロナ禍での生活困窮や就労支援に係る相談件数の増加に対応するため、令和２年度に相談支援員を１人増員した支援体制を維持しながら、きめ細かな相談を実施しました。

〔実績・内容〕

・住居確保給付金の支給

支給実績　　309世帯（前年度比93件減）

・生活困窮者への相談支援

令和２年度に強化した支援体制のもとで引き続き生活困窮に係る相談に対応し、一般就労開始93件、就労収入増加43件につながりました。

【財源内訳】

国庫支出金	97,271,033円	一般財源	32,423,679円

6　地域で共生する社会の実現に向けた取組の推進　　13,593,000円　13,586,826円

〈地域福祉コーディネーターによる共助支援事業費〉

社会的孤立や生活困窮、介護などの地域生活に課題を抱えている方などが安心して暮らせるように、住民同士が互いに支え合い、課題解決に取り組む共助の基盤づくりのため、令和２年度に大沢地区をモデル地区に指定し専門職として配置した「地域福祉コーディネーター」を、令和３年度は新たに連雀地区に１人配置し、エリアを拡大して専門的な支援を行いました。

〔実績・内容〕

対応件数	新規169件（大沢　94件、連雀　75件）
利用者	高齢者、障がい者、生活困窮者、子育て中の方、子ども　など
相談内容	健康・医療・介護、安全・安心・見守り、子育て・教育、 社会参加・ボランティア　など

【財源内訳】

国庫支出金	10,189,000円	一般財源	3,397,826円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

7　新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付　139,790,000円　107,323,743円

〈新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費〉

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、生活に困窮する世帯等に対し、就労による自立を支援するため、国の補助事業として、「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を給付しました。なお、早期の自立が困難な場合には円滑な生活保護の受給へつなげました。

〔実績・内容〕

給付対象者　社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付を限度額に達する等の理由により利用できない世帯で、申請者が常用就職に向けて求職活動等を熱心に行っている方

給 付 額　単身世帯６万円、２人世帯８万円、３人以上世帯10万円

給付実績　997件（単身世帯685件、２人世帯131件、３人以上世帯181件）

【財源内訳】

国庫支出金	107,323,000円	一般財源	743円

8　自宅療養者への食料支援　9,850,344円　8,211,539円

〈新型コロナウイルス感染症自宅療養者食料支援事業費〉

新型コロナウイルス感染症の感染拡大における自宅療養者等が安心して療養生活を送れるように、食料品等の支援を行いました。令和３年10月には、食料品等の支援とともに、相談支援を行う自宅療養者相談支援センターを設置しました。

〔実績・内容〕

・食料品支援（ごはん等３日分程度／セット）　1,056セット

・生活用品支援（トイレットペーパー等／セット）　231セット

・パルスオキシメーター支援（３週間程度の貸与）　149台

〔関連事業費〕

衛生費　自宅療養者相談支援センターの開設　433,016円（126ページ参照）

【財源内訳】

都支出金	7,888,000円	一般財源	323,539円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

9　自宅療養者への介護・障がい福祉サービスの継続支援　4,386,000円　225,750円

〈介護・障がい福祉サービス継続支援事業費〉

自宅療養者が増加する中で、介護及び障がい福祉サービス利用者が感染者又は濃厚接触者となり自宅で療養等する場合においても、サービスが継続して受けられるように、サービス提供事業所に対して支援を行いました。

〔実績・内容〕

・感染症対応手当に対する補助　25,000円

対　象　自宅療養者等と同一空間内で直接訪問サービスを提供する従事者に感染症対応手当を支給する市内の訪問系サービス事業所及び通所系サービス事業所

助成金額　１日当たり5,000円、利用者１人当たり14日を上限

実　績　自宅療養者２人へのサービス提供

・感染研修経費に対する補助　200,750円

対　象　自宅療養者等にサービスを提供する際に必要な感染予防知識を事業所が習得するための研修費

助成金額　１事業所当たり10万円を上限

実　績　３事業所

【財源内訳】

都支出金	225,000円	一般財源	750円

10　障がい者の生活を地域で支える地域生活支援拠点の整備　7,194,000円　5,057,398円

〈地域生活支援拠点事業費〉

障がい者等の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えた支援を行うため、基幹相談支援センター、相談支援事業所や一時保護施設など市内の複数の機関が相互に連携して機能を担う地域生活支援拠点について、必要な５つの機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人財の確保・養成、地域の体制づくり）の段階的な整備に取り組みました。

〔実績・内容〕

・相談機能の充実

近い将来に親元などでの生活が困難となることが想定される障がい者等を対象に「緊急時支援計画」による支援を開始しました（作成着手済８件のうち４件作成済み）。

・体験の機会・場の整備

緊急時に備えた宿泊体験等の場の整備のため、心身障がい者（児）の一時保護施設「ピアえきまえ」の入浴設備を改修しました。

・地域の体制づくりの支援

障がい者（児）地域生活支援拠点連絡会を設置し、本事業の機能の充実化に向けた検討、「緊急時支援計画」による支援対象者や支援内容の検討等を行いました。

【財源内訳】

国庫支出金	1,370,000円	都支出金	685,000円
一般財源	3,002,398円		

11　災害時人工呼吸器個別支援計画の拡充　　169,000円　　100,000円

〈災害時人工呼吸器個別支援計画作成事業費〉

令和２年７月に改訂された「東京都在宅人工呼吸器使用者災害時支援指針」に基づき、在宅で人工呼吸器を使用する方を災害時に適切に支援できるよう、災害時における人工呼吸器の作動確認と対応の流れや停電への備えと対応などを新たに盛り込んだ、実効性のある個別支援計画を作成しました。

〔実績・内容〕

対象者　　市内在宅人工呼吸器使用者

計画作成数　　12件（うち５件は訪問看護ステーションに委託）

12　調布基地跡地福祉施設の整備等に向けた取組　　5,000円　　0円

〈調布基地跡地福祉施設整備事業費〉

調布基地跡地に三鷹市、府中市、調布市の三市共同で開設を予定していた障がい児（者）福祉施設について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などを踏まえて整備スケジュール等の再調整を行いました。また、施設の整備に向けて、三鷹市を中心とした三市で、対象とするサービスなど事業内容等の検討・協議を行い、「調布基地跡地福祉施設（仮称）整備に係る基本プラン（改定版）」の策定に取り組みました。

〔施設概要（案）〕

開設予定時期　　令和７年度中

事業内容　　医療的なケアが必要な方や行動障がいのある方などを対象とした生活介護事業及び短期入所事業

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

13　敬老のつどいの中止と敬老お食事クーポン券の配布　　71,052,000円　　61,248,378円

〈敬老のつどい事業費、食事サービス利用助成事業費〉

新型コロナウイルス感染症の影響による「敬老のつどい」の中止に伴い、招待予定者を対象に「敬老お食事クーポン券」を配布し、食事を楽しむ機会を提供するとともに、感染拡大の影響を受けている市内飲食事業者への支援に取り組みました。

〔実績・内容〕

対 象 者　　77歳以上の市民　19,470人
助成内容　　敬老お食事クーポン券（１人３千円分（500円券×６枚））
参加店舗数　　99店舗
利用実績　　77.3％

〔関連事業費〕

商工費　飲食事業者への支援　　61,785,282円（145ページ参照）

【財源内訳】

国庫支出金	40,735,000円	一般財源	20,513,378円

14　介護人財の確保に向けた支援の推進　　14,084,000円　　12,205,860円

〈介護人財確保事業費〉

福祉・介護サービスに対する需要の増大・多様化に対応し、質の高い介護サービスを安定して提供するための介護人財の確保と定着促進に向けた支援について、支援内容を拡充し、労働環境の改善に取り組みました。

〔実績・内容〕

従来事業

・介護職員永年勤続表彰　　77人（表彰式は中止）
・介護職員等家賃補助　　34人（新規募集は令和２年度末で終了）

拡充事業

・介護職員向け研修会　　管理者向け：21人、中堅職員向け：８人、若手職員向け：13人、外国人向け：６人
・介護職員の研修費等補助　　初任者研修：14人、実務者研修：34人、介護福祉士：６人

※これまでの研修費補助に加え、介護福祉士資格取得に係る経費の補助を追加

【財源内訳】

都支出金	3,574,000円	一般財源	8,631,860円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

15　介護事業者の地域連携の推進　　10,000,000円　　6,028,125円

〈介護事業者地域連携推進事業費〉

高齢者介護の重要な役割を担う小規模事業者が安定的に事業を継続していくため、小規模事業者の事業運営を協働してサポートする役割を担う中核となる事業者を設置したほか、地域連携に参加する小規模事業者を募集するなど、事業者間の緩やかな連携体制の構築に向けた取組を行いました。

〔実績・内容〕

参加事業者　　20事業者（中核事業者含む）

取組内容　　連絡会議への出席（月１回）、事業者同士の情報交換、
ＢＣＰ策定プロジェクトミーティングの実施

【財源内訳】

都支出金	6,020,000円	諸収入	7,322円
一般財源	803円		

16　旧どんぐり山施設の利活用　　23,332,963円　　22,462,380円

〈旧どんぐり山施設利活用関係費〉

旧どんぐり山施設を在宅医療・介護の推進拠点、モデル施設として整備するため、三鷹市社会福祉事業団との協働により「福祉Laboどんぐり山（仮称）事業計画」を策定しました。同計画に基づき、令和５年度の開設に向けてプレ事業を含めた開設準備に取り組みます。

また、施設の改修工事について基本設計が令和３年９月に完了し、引き続き実施設計に着手しました。

〔施設概要〕

在宅医療・介護研究センター、介護人財育成センター及び２つの拠点の実践・実証の場としての生活リハビリセンターを整備し、在宅生活を望む高齢者やその介護を担う家族、市内事業者を支援する在宅医療・介護の推進拠点施設とします。

３階　　在宅医療・介護研究センター、介護人財育成センター

２階　　生活リハビリセンター

１階　　地域包括支援センター、地域交流スペース

〔債務負担行為の内容〕

旧どんぐり山施設設計業務委託事業　　6,100,000円

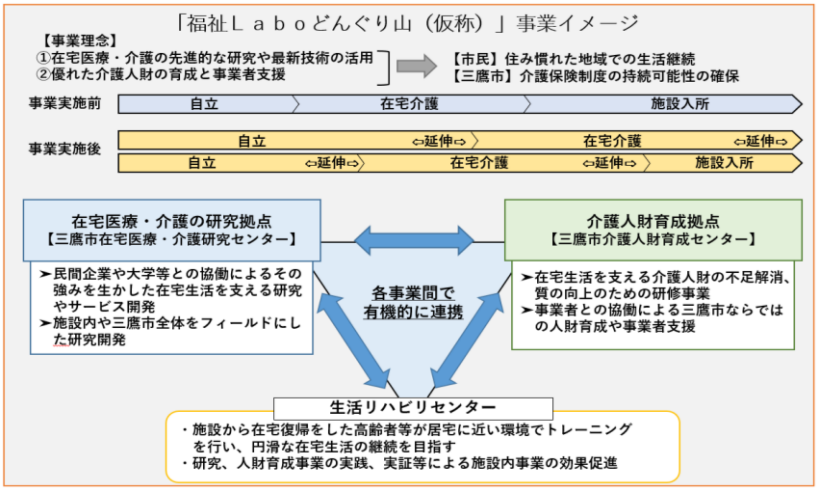
（令和４年度＜債務負担分＞14,250,000円　全体事業費20,350,000円）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

【財源内訳】

都支出金	11,000,000円	一般財源	11,462,380円

■「福祉Laboどんぐり山（仮称）」事業イメージ



17　家族等介護者が新型コロナウイルスに感染した市民のショートステイ事業の実施

〈新型コロナウイルス感染者家族等支援事業費〉　　45,579,000円　　24,802,377円

新型コロナウイルス感染者の家族等で、自身は陰性であるものの高齢等の理由により在宅での生活が難しい市民を支援するため、旧どんぐり山施設を活用したショートステイ事業を令和３年９月まで実施しました。また、その後も感染拡大が続いたため、10月以降は市内民間宿泊施設を借り上げ、要件を緩和して支援を継続しました。

〔実績・内容〕

対象者　　家族等介護者が感染したことにより、自宅での生活が困難な高齢者・障がい者のうち、以下の要件を満たす市民
・ＰＣＲ検査で本人の陰性が確認されていること
・介護サービス等を利用した在宅での生活が困難であること
・民間事業所によるショートステイ等の利用が困難であること
※10月以降は、家族が陽性で本人が陰性であれば上記の要件に係わらず利用できるよう要件を緩和

利用実績　　２人（相談件数　26件）

〔関連事業費〕

民生費　感染者の子どもが宿泊するショートステイの実施　　10,815,056円

（111ページ参照）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

【財源内訳】

都支出金	10,000,000円	諸収入	15,422円
一般財源	14,786,955円		

18　オンラインツールを活用した介護予防・フレイル予防活動の支援

〈介護予防・フレイル予防活動支援事業費〉　3,000,000円　3,000,000円

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛が続く中、高齢者が健康状態を維持し、交流機会を確保できるよう、対面とオンラインを併用した介護予防体操講座を開催するとともに、市が作成した「うごこっと体操」の動画及びテキストを作成し、インターネット上に動画を公開しました。

〔実績・内容〕

対象者　65歳以上の市民

講座内容　オンラインツールの操作説明、体操、参加者交流、介護予防事業の紹介、グループ活動に向けた支援など（全５回）

参加実績　令和３年11～12月　25人（オンライン＋井の頭ＣＣ・大沢ＣＣ）
令和４年１～２月　19人（オンライン＋連雀ＣＣ・新川中原ＣＣ）

〔関連事業費〕

介護保険事業特別会計　オンライン健康講座の実施　1,336,100円

（207ページ参照）

【財源内訳】

都支出金	3,000,000円

19　住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付　2,557,035,000円　1,555,971,400円

〈住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費〉

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるように、国の補助事業として、住民税非課税世帯等に対し、臨時特別給付金を給付しました。また、令和４年度も継続して給付を行うことから、繰越明許費を設定のうえ、事業費、事務費の一部を繰り越しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

〔実績・内容〕

給付対象者　ア　基準日（令和３年12月10日）において、世帯全員の令和３年度分の住民税均等割が非課税である世帯

イ　新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、家計が急変し、アの世帯と同様の事情にあると認められる家計急変世帯

給　付　額　１世帯当たり10万円

申請期間　ア　非課税世帯　令和４年２月２日（水）～５月31日（火）

イ　家計急変世帯　令和４年２月２日（水）～９月30日（金）

給付世帯数　15,258世帯（非課税世帯15,178世帯、家計急変世帯80世帯）

支　給　率　75.8％

〔繰越明許費繰越額〕

令和４年度への繰越分

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費　691,533,000円

【財源内訳】

国庫支出金	1,555,971,000円	一般財源	400円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

児童福祉費

1　子どものいる家庭への宅食・見守り支援の取組　　7,000,000円　　7,000,000円

〈宅食・見守り支援事業費〉

経済的な事情等により食の提供を必要とする子どものいる家庭に対して、食品や食材を宅配する事業を実施し、食の確保の一助とするとともに、宅配の機会を活用した見守り活動を行いました。

〔実績・内容〕

実施主体　　フードバンクみたか
対 象 者　　児童育成手当の受給世帯等
配送内容　　・米、パスタ、レトルト食品、缶詰、菓子等（６、９、12、３月）
　　・新米（11月）
配送実績　　延べ1,043世帯（全５回）

【財源内訳】

国庫支出金	7,000,000円

2　児童福祉施設等のあり方についての検討　　1,179,000円　　865,674円

〈児童福祉施設等適正配置検討事業費〉

保育園・学童保育所等の児童福祉施設について、将来的な就学前人口、児童数及び保育需要率の動向を見据え、施設老朽化等を踏まえながら、現状の課題の解決策や今後の施設の果たすべき役割などの調査・研究を行いました。なお、当初令和３年度に「公設公営保育園・学童保育所の今後の基本方針（仮称）」を策定予定でしたが、令和４年度の待機児童の状況や「新都市再生ビジョン（仮称）」の内容を踏まえた基本方針とするため、策定時期を令和４年度としました。

3　保育施設等における感染症防止対策　　64,700,000円　　54,613,951円

〈新型コロナウイルス感染症対策関係費、むらさき子どもひろば管理運営費、学童保育所管理関係費〉

保育施設・幼稚園等において、感染症防止対策を適切に実施するため、国・東京都の補助金を活用し、民間施設に対する衛生用品等の購入や備品の消毒等の感染症対策に必要な職員の増員に対して支援を行いました。また、公立施設についても、必要な衛生用品等を配備しました。

〔実績・内容〕

対象施設　　保育園、幼稚園、学童保育所、親子ひろば、一時預かり施設　等
助成金額　　１施設当たり最大50万円（施設規模等により金額は異なる）
助成内容　　マスク、アルコール消毒液などの衛生用品、
　　感染対策のために要した人件費　等

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

【財源内訳】

国庫支出金	21,118,000円	都支出金	9,490,000円
一般財源	24,005,951円		

4　子育て応援給付金の給付　　99,810,000円　　99,130,343円

〈子育て応援給付金給付事業費〉

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、子育て世帯の生活と子どもの健やかな成長を応援するため、国の特別定額給付金及び東京都の出産応援事業の対象とならなかった子どもを対象に、市独自事業として「子育て応援給付金」を給付しました。

〔実績・内容〕

給付対象者　令和２年４月28日～12月31日に出生し、令和３年４月１日時点で三鷹市に住民登録のある子ども
※他自治体で同様の給付を受けている場合は対象外

給付額　子ども１人につき10万円

初回給付日　令和３年５月14日（金）

給付実績　954人

【財源内訳】

国庫支出金	89,297,000円	一般財源	9,833,343円

5　子育て世帯生活支援特別給付金の給付　　199,100,000円　　162,286,524円

〈子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費〉

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、食費をはじめとする家計支出増加等の実情を踏まえ、低所得の子育て世帯の生活を支援するため、国の補助事業として「子育て世帯生活支援特別給付金」を給付しました。

〔実績・内容〕

対象児童　令和３年３月31日時点で、18歳未満の児童
（障がい児の場合、20歳未満）

給付対象者　・低所得のひとり親世帯
令和３年４月分の児童扶養手当受給者
※公的年金等の受給により児童扶養手当の支給を受けていない世帯、家計急変世帯（直近で収入が減少し、児童扶養手当の対象となる水準に下がった方）を含む。

・その他低所得の子育て世帯
令和３年４月分の児童手当または特別児童扶養手当の受給者で、令和３年度分の住民税均等割が非課税の方
※高校生のみ養育世帯及び家計急変世帯（直近で収入が減少し、住民税均等割が非課税相当の水準に下がった方）を含む。

給　付　額　　児童１人につき５万円
初回給付日　　令和３年５月10日（月）
給付実績　　3,032人　低所得のひとり親世帯　1,135人
その他低所得の子育て世帯　1,897人

【財源内訳】

国庫支出金	162,286,000円	一般財源	524円

6　感染者の子どもが宿泊するショートステイの実施　　20,166,000円　　10,815,056円

〈新型コロナウイルス感染者家族等支援事業費〉

保護者が感染し入院等となり、子どもの養育が困難となった家庭を支援するため、市内宿泊施設を活用し、子どもを対象としたショートステイ事業を実施しました。事業の実施に当たっては、東京都の「養育困難児童の受入体制整備事業補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

対象者　　保護者が感染し入院等となり、子どもの養育が困難となった家庭で、以下の要件を満たす生後６か月から中学３年生までの子ども
・ＰＣＲ検査で本人の陰性が確認されていること
・保健所、児童相談所において一時保護または一時保護委託が実施できないこと

実施期間　　令和３年10月11日（月）～令和４年３月31日（木）
支援内容　　保育及び生活支援、実費負担による食事の提供
利用実績　　延べ２人（１世帯）

〔関連事業費〕

民生費　家族等介護者が新型コロナウイルスに感染した市民のショートステイ事業の実施　　24,802,377円（106ページ参照）

【財源内訳】

都支出金	10,000,000円	一般財源	815,056円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

7　保育施設及び幼稚園等でのＰＣＲ検査の支援　　11,346,000円　　153,681円

〈ＰＣＲ検査助成事業費〉

保育施設及び幼稚園等において、子どもが感染した場合、濃厚接触者に該当しなくても感染の不安を感じている子どもや職員に対して、ＰＣＲ検査費用の助成を行い、コロナ禍においても安全・安心な保育の提供に取り組みました。

〔実績・内容〕

対 象 者　医療機関が実施する任意のＰＣＲ検査を実施した方のうち、以下の要件を満たす方
- 感染が発生した施設内の児童、職員
- 濃厚接触者等に該当しないこと
- 検査を希望し、かつ施設が必要と認める場合

対象施設　幼稚園、認定こども園、認可保育園、地域型保育施設、認証保育所、企業主導型保育施設、学童保育所、くるみ幼児園

対象期間　感染が発生してから概ね２週間以内

補 助 額　検査費用を対象に上限２万円

利用実績　７人

〔関連事業費〕

教育費　小・中学校でのＰＣＲ検査の支援　1,298,790円（168ページ参照）

8　保育士・幼稚園教諭等の処遇改善に向けた取組　　27,889,000円　　27,751,278円

〈保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費（国庫補助事業分）、保育従事職員等処遇改善事業費（都補助事業分）、公設公営保育園運営事業費〉

国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、保育士や幼稚園教諭等を対象に、令和４年２月より３％程度（月額9,000円）の賃上げを実施し、処遇改善を行いました。また、国の事業では対象とならなかった施設についても、東京都の補助制度を活用し、同様の処遇改善を行いました。

〔実績・内容〕

対象施設
- 国事業分（102施設）
  保育園、認定こども園、地域型保育施設、幼稚園、学童保育所、母子生活支援施設
- 都事業分（14施設）
  認証保育所、病児保育施設

【財源内訳】

国庫支出金	22,980,398円	都支出金	4,770,880円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

9　子育て世代包括支援センターの機能強化による親の子育て力向上に向けた取組

〈子育て世代包括支援センター関係費〉　　2,261,000円　　1,419,340円

子育て力を向上させるための取組として、子育て世代包括支援センター機能の中核施設である子ども発達支援センターと総合保健センターが連携して実施している子育て支援プログラムについて、効果の向上を図るため、参加者フォローアップ講座を開催しました。

〔実績・内容〕

各回のプログラム終了時に、プログラムで実践したことの補完や家庭での活用方法を示し、講座受講後に家庭で実践するための支援を実施しました。

プログラム名	対象者	講座のねらい	実施回数	参加者数（延べ）
こいぬ	１歳６か月～２歳の子どもと保護者	保護者が家庭の中で積極的に子どもに向き合う意識を醸成する。	21回	145人
こねこ	２歳～２歳６か月の子どもと保護者	保護者がより子どもを理解し、集団生活を見据えて子育ての意識を醸成する。	10回	62人

【財源内訳】

国庫支出金	946,000円	都支出金	236,000円
一般財源	237,340円		

10　子育て家庭への育児支援の充実　　2,632,000円　　1,341,400円

〈養育支援訪問事業費〉

不安や負担感を感じやすい乳幼児期の子育て家庭に対して、家事・育児支援を行う育児支援ヘルパー事業や寄り添い支援を行うホームスタート事業を拡充し、子どもの健やかな育ちに向けて親の負担の軽減を図りました。

〔実績・内容〕

・育児支援ヘルパー事業の充実

利用期間をこれまでの生後３か月未満から１歳未満までに拡充

利用実績　　807時間（前年度比399時間増）

・ホームスタート事業の拡充

社会福祉協議会がＮＰＯ法人子育てコンビニと協働で実施し、研修を受けた地域の子育て経験者が家庭訪問型の寄り添い支援を行うホームスタート事業について、市の産後サポート事業の一つに位置付け、受付相談員の配置や支援者の研修費用を助成することにより活動の充実を図りました。

訪問実績　　40世帯（前年度比16世帯増）

【財源内訳】

都支出金	161,400円	一般財源	1,180,000円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

11　時代に即した子育て支援に向けた情報発信・相談体制の強化

〈子育て支援サイト運営事業費〉　　9,678,000円　　8,268,295円

利便性の向上と情報発信・相談体制の強化を図るため、これまで市の子育て支援ツールとして運用してきた「みたか子育てねっと」に代わる新たな子育て支援サイト「みたかきっずナビ」を構築し、令和４年度から運用を開始しました。人財確保機能については、子育て支援サイトとの相互リンクを設置する方法での運用を目指し、令和４年１月から民間求人サイト内に三鷹市求人特設サイトを構築しました。

〔主な特長〕

・ウェブサイトのスマートフォンでの最適化表示
・目的や対象年齢等条件の指定など検索機能の向上
・「ゆりかごスマイル」の機能を含んだスマートフォン向けのアプリの提供
・一時預かりのオンライン予約（初回利用登録を除く）

【財源内訳】

国庫支出金	1,246,000円	都支出金	3,373,000円
一般財源	3,649,295円		

12　公立保育園の弾力運用による保育定員の拡充　　11,066,000円　　9,295,790円

〈公設公営保育園運営事業費〉

喫緊の課題である待機児童の解消に向けて、年齢別の保育ニーズを踏まえ、公立保育園において１歳児クラスの弾力運用による定員拡充を行いました。

〔実績・内容〕

保育園	児童数		
	拡充前	拡充後	増減
南浦東保育園	10人	12人	+2人
あけぼの保育園	10人	12人	+2人
山中保育園	20人	22人	+2人
合計	40人	46人	+6人

13　保育園における給食用食材の放射性物質検査の実施　　228,000円　　216,817円

〈公設公営保育園運営事業費〉

児童や保護者のより一層の安心のため、公立保育園における給食用食材の放射性物質検査を実施し、いずれも放射性物質は検出されませんでした。

〔実績・内容〕

実施日　　令和３年７月６日（火）、７日（水）、９日（金）
対象園　　公立保育園　13園（各園１回）
検査品目　　園児に提供した給食（一食まるごと検査）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

14　森林環境譲与税を活用した公共施設木製備品導入プロジェクトの推進

〈公設公営保育園運営事業費〉　　14,618,865円　　11,765,305円

「公共施設木製備品導入プロジェクト」を推進するため、令和元年度から譲与されている森林環境譲与税や東京都の補助制度を活用しながら、市内の保育施設等へ木製備品を導入しています。令和３年度は、「三鷹市公共建築物等における木材利用推進方針」に基づき、公立保育園13園で多摩産材を活用した幼児机・椅子などを導入しました。

〔関連する歳入〕

森林環境譲与税15,713,000円のうち民生費分　　5,882,000円

【財源内訳】

都支出金	5,882,000円	一般財源	5,883,305円

■木製備品の例（幼児机・椅子）

15　私立認可保育園の運営支援　　126,458,000円　　102,456,688円

〈私立保育園運営事業費〉

待機児童の解消と多様化する保育ニーズに対応するため、令和３年４月に開設した私立認可保育園１園の運営費を支援しました。なお、東京都市町村総合交付金政策連携枠の待機児童対策（40,000,000円）を活用し、財政負担の軽減を図りました。

〔施設概要〕

うれしい保育園三鷹中原

所在地　　中原三丁目

定　員

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
6人	11人	11人	11人	11人	11人	61人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

【財源内訳】

分担金負担金	6,455,650円	国庫支出金	31,857,721円
都支出金	52,551,010円	一般財源	11,592,307円

16　認証保育所における１歳児受入の促進　　12,829,000円　　2,974,720円

〈認証保育所等運営事業費〉

保育ニーズが高い１歳児について、認証保育所で生じている０歳児の空き定員を活用し、１歳児の受入人数を増やすことで、待機児童の解消を図りました。なお、定員変更により１歳児を受け入れた施設に対して、東京都の補助制度を活用し、運営費を加算して支援しました。

〔実績・内容〕

事業概要　　定員変更により１歳児の受入人数を増やした場合に、０歳児と１歳児の運営費補助の差額を補塡

基準額　　対象児童１人当たり　月額46,480円

利用実績　　５園延べ64人

【財源内訳】

都支出金	1,414,000円	一般財源	1,560,720円

17　認可外保育施設利用助成の拡充　　14,784,320円　　14,784,320円

〈認可外保育施設利用助成事業費〉

待機児童対策として、令和３年度より新たに企業主導型保育施設を助成対象とし、更なる利用の促進を図りました。

〔実績・内容〕

助成内容　　０～２歳児について、市内認可保育園の平均保育料以下の負担となるよう所得階層に応じて助成するほか、第２子以降の多子世帯の負担軽減を実施

助成額　　月額5,000円～37,000円（所得階層により異なる）

利用実績　　９園延べ1,127人

【財源内訳】

都支出金	11,024,000円	一般財源	3,760,320円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

18　保育施設における医療的ケア児支援の拡充　　15,025,000円　　3,906,000円

〈医療的ケア児支援事業費〉

令和２年度から開始した公私連携型保育園における医療的ケア児の受け入れについて、令和３年度から受入可能施設を１園拡充し、医療的ケア児の地域生活向上を支援しました。

〔実績・内容〕

対 象 者　　集団生活が可能な医療的ケアを必要とする児童
※経管栄養（経鼻・胃ろう）、導尿、インスリン注射に限定

実施施設　　三鷹南浦西保育園、三鷹赤とんぼ保育園、
三鷹ちどりこども園（令和３年度開始）

受入実績　　２人

【財源内訳】

都支出金	2,929,000円	一般財源	977,000円

19　私立認可保育園の開設支援　　411,050,000円　　408,165,000円

〈私立保育園整備事業費〉

今後の保育ニーズを見据え、国・東京都の補助金を活用し、保育園の開設及び建替えに向けた整備を支援しました。

〔施設概要〕

ときむれのこ保育園（令和４年４月開設）

所在地　　牟礼四丁目

定　員

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
6人	18人	18人	－	－	－	42人

椎の実子供の家（令和２～３年度で建替え）

所在地　　大沢四丁目

定　員

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
9人	18人	20人	20人	20人	20人	107人

※建替え前と比較し、定員を10人拡充

【財源内訳】

国庫支出金	251,121,000円	都支出金	153,205,000円
一般財源	3,839,000円		

■ときむれのこ保育園

■椎の実子供の家

20　待機児童解消に向けた定期利用保育施設の整備　　17,814,000円　　10,314,686円

〈定期利用保育事業費〉

保育ニーズが高い１、２歳児の待機児童対策として、令和３年４月まで認証保育所として事業を行っていた施設の跡地に定期利用保育施設を整備し、令和４年５月から運営を開始しました。

〔施設概要〕

三鷹市定期利用保育室ひなた

所 在 地　　下連雀四丁目
対 象 者　　認可保育園等の入園を希望したものの入所に至らなかった児童
定　　員　　20人（１歳児：10人、２歳児：10人）
運営方法　　民間事業者へ委託

21　学童保育所待機児童の解消に向けた取組　　100,776,000円　　78,869,447円

(1) 西多世代交流センターにおける児童館機能の拡充　　4,082,000円　　3,359,115円

〈西多世代交流センター放課後・夏休みクラブ事業費〉

第二小学校・井口小学校学童保育所の待機児童を対象に、西多世代交流センターにおいて放課後にランドセルを持ったまま来館できる仕組みを整えるとともに、学校休業日における子どもの居場所の確保を図りました。

〔実績・内容〕

対 象 者　　二小・井口小学童保育所の待機児童（利用登録制）
利用時間　　・平日　下校後～午後５時
・土曜、夏季休業等を含む学校休業日
午前９時～午後５時
※日曜・祝日を除く。

実施期間　　令和３年４月１日（木）～令和４年３月31日（木）
登録実績　　延べ13人

【財源内訳】

諸　収　入	154,000円	一　般　財　源	3,205,115円

(2) 学童保育所の定員拡充　　82,289,000円　　62,405,802円

〈学童保育所管理関係費〉

学童保育所における待機児童の解消に向け、令和３年度に新たな学童保育所の運営を開始したほか、既存施設の定員を拡充しました。

〔実績・内容〕

施設名	所在地	整備内容	定員	合計 拡充人数
三小学童保育所C	下連雀三丁目	新規開設	40人	225人
三小学童保育所D	下連雀三丁目		40人	
高山小学童保育所D	牟礼三丁目		65人	
東台小学童保育所A分室	中原二丁目		30人	
六小学童保育所A分室	下連雀六丁目		40人	
羽沢小学童保育所分室	大沢四丁目	定員拡充	※10人	

※拡充人数を記載（定員　30人→40人）

【財源内訳】

使用料手数料	14,442,800円	国庫支出金	11,732,000円
都　支　出　金	34,552,750円	一　般　財　源	1,678,252円

(3) 学童保育所分室の整備　　14,405,000円　　13,104,530円

〈二小・井口小学童保育所整備事業費、五小学童保育所整備事業費、中原小学童保育所整備事業費〉

学童保育所における待機児童の解消に向け、小・中学校の教室等を活用した新たな学童保育所分室の整備に取り組み、令和４年４月から定員を拡充しました。

〔施設概要〕

	にしみたか学園 学童保育所 分室	五小 学童保育所A 分室	中原小 学童保育所A 分室
所在地	野崎三丁目	井の頭二丁目	中原二丁目
開設時期	令和４年４月		
定　員	30人	40人	30人
面　積	63.75㎡	64.89㎡	62.58㎡

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

【財源内訳】

国庫支出金	777,000円	都支出金	777,000円
一般財源	11,550,530円		

22　子育て世帯への臨時特別給付金の給付　　2,133,517,000円　2,065,560,697円

〈子育て世帯への臨時特別給付事業費〉

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯を支援するため、国の補助事業として、高校生までの子どもがいる世帯に対し、「子育て世帯への臨時特別給付金」を給付しました。なお、実施期間が令和４年度に継続することから、繰越明許費を設定のうえ、事業費、事務費の一部を繰り越しました。

〔実績・内容〕

給付対象者　　基準日（令和３年９月30日）において、以下のいずれかに該当する方

・令和３年９月分の特例給付を除く児童手当の受給者（公務員含む。）

※令和３年９月出生児童については、令和３年10月分の児童手当受給者

・平成15年４月２日から平成18年４月１日の間に生まれた児童の主たる生計維持者で児童手当の所得制限未満の方

・令和３年10月１日から令和４年３月31日までに出生した児童の主たる生計維持者で児童手当の所得制限未満の方

・基準日以降の離婚等により新たに養育者となった児童手当の所得制限未満の方（令和４年２月28日時点）

給付額　　子ども１人につき10万円

初回給付日　　令和３年12月27日（月）

給付実績　　20,596人

〔繰越明許費繰越額〕

令和４年度への繰越分

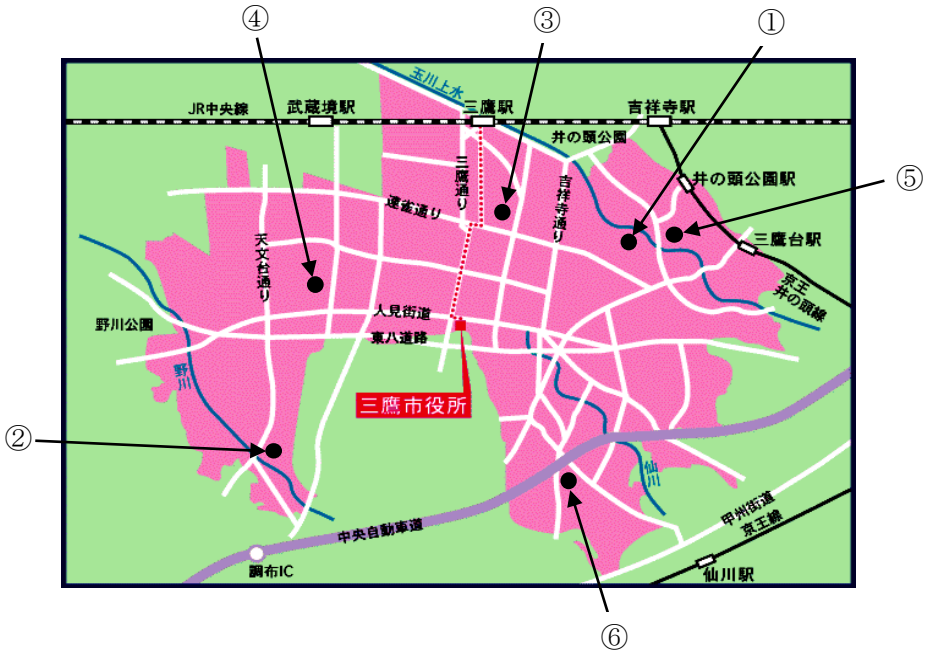
子育て世帯への臨時特別給付事業費　　16,028,000円

【財源内訳】

国庫支出金	2,065,560,000円	一般財源	697円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

令和３年度に取り組んだ主な施設整備



【児童福祉費】

①ときむれのこ保育園	私立認可保育園の開設支援
②椎の実子供の家	私立認可保育園の開設支援
③三鷹市定期利用保育室ひなた	待機児童解消に向けた定期利用保育施設の整備
④にしみたか学園学童保育所分室	学童保育所待機児童の解消に向けた取組
⑤五小学童保育所Ａ分室	学童保育所待機児童の解消に向けた取組
⑥中原小学童保育所Ａ分室	学童保育所待機児童の解消に向けた取組

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額

生活保護費

1　生活保護実施体制の強化　　4,069,000円　　3,808,735円

〈生活保護実施体制強化事業費〉

国の生活保護適正実施推進事業の趣旨を踏まえ、一時扶助等の更なる適正管理を図るとともに、速やかな安否確認や生活福祉課等の相談窓口における不当要求などに対応するため、新たに生活保護業務等支援員を１名配置しました。

【財源内訳】

国庫支出金	2,856,000円	一般財源	952,735円